

「中学生との語る会」

日時：10月20日（日） 午前10時から（会場：区役所庁議室）

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、みんなが笑顔で安心して暮らせるような町になってほしいです。</p> <p>最近は学校の先生から「不審者が出ているから気をつけて」と言われることが増えたように感じます。不審者などを減らすためには、町の雰囲気をよくする事も大事だと思います。ですから、地域の清掃をして、きれいな環境を保ったり、近所の方と会ったら挨拶を交わしたりして、明るい雰囲気を作っていきたいです。また、そうする事で、コミュニケーションをとるきっかけになり、地域の人との仲も深まり、笑顔あふれる町にもなっていくと思います。</p> <p>未来の台東区民のみなさんが笑顔で安心して暮せるような町になるために、私たちもこれらの事を率先してやっていきたいです。</p>	<p>「笑顔」は本当にいいですね。私も、皆さんが笑顔で安心して暮らせるまちにしていきたいと思っています。</p> <p>自分が笑顔になれば周りの人たちも笑顔になっていくと思いますので、これからも皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>また、お祭りやイベントなどを通して地域の人たちと交流を深めることは、大切なことですし、素晴らしいことですよ。</p> <p>笑顔で安心して暮らせるまちになるために、一緒に頑張りましょう。</p> <p>良い提案、ありがとうございました。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>20年後、ぼくは34歳になっています。</p> <p>仕事や他の関係で台東区にはいないかもしれませんが、上野や浅草も今よりさらに発展し、その他の場所も開発が進んでいると思います。そう考えたときに、ぼくが思ったことは、今の台東区が未来まで残っていてほしいということです。</p> <p>人々の生活を豊かにする便利な新しいものと、昔から受けついできた古き良きものが共存していて、ぼくたちがいつでも帰ってこられる台東区。そんな20年後をぼくは望みます。</p>	<p>自分が生まれ育った場所というのは、いつまでも残っていてほしいですね。</p> <p>台東区には古くからあるお寺や神社がたくさんあります。</p> <p>また、台東区はお祭りなども多く、地域のつながりが深いところも、台東区の良さの一つだと思います。</p> <p>区で「温故創新」という言葉を使う時がありますが、これからも、古いものや昔から続いている良きものを大切にしながら、20年後や30年後に向けて、新しいものを創りあげていきたいと思います。</p> <p>皆さんのふるさとである「台東区」が、更に素晴らしいまちとなるよう、頑張ります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、台東区が歴史に溢れている事を知ってほしいと思いました。</p> <p>台東区には色々深い歴史があり、歴史・文化検定もあります。しかし、私の友達ほとんどそれに興味がありませんでした。自分は、今、台東区に住んでいる人達あるいは観光をしに来た人に台東区の歴史を知ってもらいたいと思いました。</p> <p>歴史があった場所にわかりやすいあらすじなどを書いて、台東区に住んでいる、あるいは観光しに来た人に、台東区の歴史を知ってもらい、興味を持てるようにしたいです。</p>	<p>自分の住んでいるまちの歴史を知るといことは大事なことですし、日本や世界の歴史を知るといことも大切なことですよね。</p> <p>台東区にはたくさんの歴史ある建造物や文化資源など、魅力ある地域資源がたくさんあります。</p> <p>区立の文化施設も5か所ありますが、すべて素晴らしい施設ですので、ぜひ見ていただいて、自分のまちのことをたくさん知っていただき、台東区の素晴らしさを多くの方に伝えていってほしいと思います。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える20年後の台東区は「観光客でにぎわう台東区」です。</p> <p>私は多くの観光客でにぎわう台東区が好きなので、20年後はもっと多くの観光客が台東区を訪れてくれるといいなと思います。そのためには、町を綺麗にする必要があると思います。なので、町を綺麗にするための地域のボランティア活動を活発にし、今よりも更に綺麗な町づくりを心がける必要があると思います。</p> <p>ボランティア活動の主な取り組みとしては、地域の清掃や台東区の観光名所の紹介などがあると思います。みんなが積極的にボランティア活動に参加して、観光客が訪れやすい町をつくってほしいなと思います。</p>	<p>平成30年に台東区を訪れた国内外の観光客数は5,583万人で、そのうち外国人観光客数は953万人と、大勢の方が台東区を訪れています。台東区を訪れた方が気持ちよく過ごすことができるよう、まちをきれいにすることも大切な「おもてなし」ですよ。</p> <p>また、台東区は、たくさんの花で心豊かに潤いのあるまちづくりをしていこうという「花の心プロジェクト」にも取り組んでいて、まちの花壇を花いっぱいにしたり、学校でもいろいろな花の栽培をいただいています。これからも、たくさんの方に訪れていただけるよう、一緒に頑張っていきましょう。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>子供とお年寄りの交流が多く、世代を超えた助け合いが出来る台東区になってほしいです。ぼくは昨年度、区で行われている広島派遣に行き、その事前学習で区民のお年寄りの方から戦争体験の話を伺いました。とても身近に感じ、戦争の怖さや平和とは何か、僕たちがすべきことは何かなどを考える貴重な経験ができました。この世代を超えた交流を通じた学びを、さらにたくさんの人にも経験してほしいと思いました。</p> <p>また、僕の地区では、神社での豆まきやラジオ体操、お祭りなど様々な行事で、お年寄りの方とふれ合う機会があり、町中のみんなと顔見知りになりました。このような交流をさらに盛んにしてもらいたいです。そうすることで、町の人同士が自然に助け合いができ、安心して暮らせる区になっていけるのではないかと考えます。</p>	<p>広島派遣に参加されて、改めて「平和」の大切さを感じたと思いますし、戦争を風化させないでいつまでも語り継いでいこう、そして二度と戦争の起きない平和なまちを作っていこうということを考える良い機会になったのではないかと思います。このような貴重な学びを、多くの方に経験してほしいと私も思っています。</p> <p>また、ラジオ体操や地域のお祭りなどの地域の行事にも積極的に参加して、これからも世代を超えた交流をたくさんしてほしいと思います。よろしくお願ひします。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私の考える未来の台東区は「歩きたいと思える道が続く台東区」です。</p> <p>このように考えた理由は2つあります。</p> <p>第一に、私が小学校の頃から道にゴミが落ちているのをよく見かけていたからです。そこで、地域の学校などでゴミを拾う機会を増やすなどをすることが必要だと思います。また、例として忍岡中学校が冬に行っている奉仕活動の清掃範囲を広げたいと考えています。</p> <p>第二に、通学路の途中にある喫煙場所の臭いや煙です。登下校の時に、たばこを吸っている人をよく見かけます。たばこは、吸っている人より煙を吸っている人たちのほうが害があるので、そこを通るのには少し抵抗があります。たばこが苦手な方も同じです。喫煙場所を近くの脇道に移動させるなどして、安全な道にしたいです。</p>	<p>「歩きたいと思える道が続く台東区」は、素敵な表現ですね。私もそういう台東区にしたいと思っています。</p> <p>忍岡中学校にも登録していただいています。これからも「大江戸清掃隊」や地域の方にも協力していただきながら、きれいなまちとなるよう取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>また、お話しの喫煙場所については、同じようなご意見を多数いただいていますので、今年度中には廃止する方向で進めています。</p> <p>これからも、きれいなまちとなるよう一緒に頑張りましょう。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>僕が考える未来の台東区は、老若男女問わず多くの区民が台東区の魅力を理解した上で、他の地域に発信できるようになることです。</p> <p>僕は先日、学校の職場体験で浅草文化観光センターを訪れました。このセンターでは「台東区観光ボランティアガイド」の方々が活躍していました。この団体は86名が在籍しているとのことですが、とても高齢の方が多くという印象を受けました。しかし、若い人も参加することで、若者目線で台東区の魅力を発信できると思います。多様な情報発信により、さらに観光客が増加し、台東区が活性化すると思います。</p>	<p>「浅草文化観光センター」は外国人観光客にもたくさん利用していただいていますので、英語で話しをしたり、貴重な経験ができたのではないのでしょうか。現在はボランティアガイドの方たちに協力していただいています。</p> <p>お話しのように、若い世代の方々にもご協力をいただけると嬉しいです。また、ガイドをするためには、やはり自分のまちをよく知ることが大切ですよね。</p> <p>これからも台東区の魅力を広く発信していき、たくさんの方に訪れていただけるよう頑張ります。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私は、台東区の伝統をみんなで守り、世界に誇れる町、台東区になってほしいです。</p> <p>区民全員が台東区のことをたくさん知って、伝統を受け継ぐ、という流れができていることが私の理想です。また、その伝統を世界に発信して、外国人の方々が台東区そのものに興味をもってくれるというのも理想です。</p> <p>私は、その理想への一歩として、「グローバルシネマ大作戦！」という台東区の映画制作に参加しています。私の理想の台東区を目指して、この映画制作に取り組んでいこうと思っています。</p> <p>20年後、私の理想の台東区になっているか分かりませんが、1番は、いつまでも住みやすい、明るい台東区であってほしいです。</p>	<p>台東区の人口も20万人を超えましたが、そのうち、在住外国人数は4月1日現在で約1万5千人となっています。</p> <p>台東区は、国籍の違いや文化の違いなど、いろいろな違いを認め合って共に生きる「多文化共生社会」の実現を目指しています。</p> <p>「グローバルシネマ大作戦！」に参加をしたという経験を活かして、これからも、「多文化共生社会」の実現に向けて、一緒に頑張っていきましょう。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>ぼくが考える未来の台東区は、2つあります。</p> <p>1つ目は、ごみが落ちていない町です。ですが、最初から町にごみ一つもないということは無理だと思います。なので、公園にごみ箱を設置するのが良いと思います。公園にはごみが多く落ちています。ぼくは、公園にごみ箱があれば、少しでもごみの量は減るのではないかと思います。</p> <p>2つ目は、笑顔があふれる町です。ぼくは、道で知っている人がいるとあいさつをします。あいさつをただけで、笑顔であいさつを返してくれる人が多いです。笑顔であいさつされた自分も気分がすごく良くなります。ぼく達中学生が進んであいさつをすれば、笑顔があふれる町に少しでも近づくのではないかと思います。</p>	<p>ごみが落ちていないきれいなまちは本当にいいですね。</p> <p>最近、公園などではごみ箱を設置するのではなく、ごみを持ち帰っていただくようお願いしています。</p> <p>区のイベントなどでは、やはりごみ箱がないと困るので、管理しながらごみ箱を置いていますが、ごみ箱だけを置いてしまうと、いろいろな問題が出てきてしまいます。ごみ箱の設置については、これからもいろいろと考えていきたいと思っています。</p> <p>また、笑顔であいさつをしてもらえると清々しい気持ちになりますよね。</p> <p>きれいな町で、そして笑顔があふれるまちになるよう、一緒に頑張りましょう。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私が考える「未来の台東区」は2つあります。</p> <p>1つ目は、外国人との交流が多い町になってほしいと思います。外国との交流が増えることで、台東区は今よりもっと明るく活気のある所になり、良いことがたくさん起こるような気がするからです。</p> <p>2つ目は、下町ならではの行事や伝統が、これから20年後になっても続いてほしいと思います。そのために、これからも自分から進んで行事に参加したり、伝統を引き継いでいけるような行動をとっていきけるようにしたいです。</p>	<p>「デンマーク海外派遣」に行かれたということで、素晴らしい経験ができましたね。</p> <p>海外派遣に参加して、外国の方との交流も貴重な経験になったと思います。</p> <p>また、日頃は気付かないけれど、外国に行くとき改めて日本の良さに気付くことも多いと思います。</p> <p>これからも、下町ならではの行事や伝統が20年後も50年後もずっと続くよう、昔から築き上げてきた伝統行事に誇りを持ちながら、若い世代の皆さんが受け継ぎ、そして守り続けてほしいと思います。よろしくお願いします。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>近年、日本では、少子高齢化社会が問題になっていますが、私はそれを逆に、お年寄り向けの施設だけでなく、子供たちが暮らしやすく、楽しめる施設がある台東区になってほしいです。</p> <p>台東区にも公園がたくさんありますが、中高生と、幼稚園児が、同じ場所で遊んでいたりと、子供の遊んでいる姿が見えにくいなど、まだ危険が潜んでいる可能性がたくさんあります。</p> <p>それともう一つ、最近では登下校中の学生を狙った犯罪被害が増えています。登下校中でもプライベートでも、子供達が安心して暮らせるような場所づくりをすると同時に、地域の人達が連携した見守りが必要だと思います。</p> <p>また、台東区が誇れる点というのは、上野や浅草といった歴史のある観光名所と外国人観光客の数です。そこで、20年後の台東区には、今よりもっと外国人が住みやすいまちになってほしいと考えます。</p> <p>パンフレットや看板などには英語や中国語などで書いてありますが、それでも迷っている外国人を町中で時々見かけます。たくさんのお店やたくさんの人々が周りにいると、スマホなどの地図を見てもあまりよくわからないのではないのでしょうか。外国人からみて、台東区は観光名所がたくさんあるけど、外国人への配慮もとても素晴らしいと思ってもらえるようなまちづくりを中学生の立場で考えています。</p>	<p>台東区では、子供たちや高齢者など、すべての方の安全・安心のための様々な取り組みを行っています。</p> <p>子供たちの安全・安心では、地域の方のご協力をいただきながら、子供たちの見守り活動などを行っていただいています。また、高齢者の方たちのことも、みんなで支えていかないといけないですよ。最近では区内でも特殊詐欺被害が多いので、そのような被害などにもあうことがないように、みんなでお年寄りを守っていくことも大切です。</p> <p>20年後も、みんなが安全・安心に暮らせる台東区にしていきたいと思っていますので、一緒に頑張っていきましょう。</p>

◇こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」

提案	回答
<p>私の考える理想の台東区は、普段の生活から、人と人との関わりの深い街です。</p> <p>地域のイベントや行事を通して周りの人と触れ合うことで絆が生まれていくのではないかと思います。</p> <p>私自身、台東区のクラブチームに所属しているのでイベントやコンテストに参加させていただくこともあるのですが、その度に、この区に住むたくさんの方の思いやりを感じることができます。</p> <p>また、普段から地域での関わりが深ければ、災害時や困ったときに、お互いに助け合うことができます。</p> <p>地域での関わりが深く、お互いに思いやることのできる人が多い台東区になってほしいです。</p>	<p>困ったときなど、お互いに助け合っていくということはとても大事なことですし、そのためにも、日頃から地域での関わりや絆を深めていくことも大切なことですよね。</p> <p>日頃のコミュニティを大切にしておくことで、それが地域の力になって、そして台東区の力になっていくと思います。</p> <p>災害時などは、地域のコミュニティや支え合いというのが大事になってきますから、これからも「思いやり」の心を大切に、一緒に頑張っていきたいと思います。</p>